

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年3月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678100084
法人名	社会福祉法人 幸風会
事業所名	グループホーム あじさい
所在地	鹿児島県熊毛郡南種子町中之上1702番地4 (電話) 0997-26-2345
自己評価作成日	平成23年12月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年2月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・利用者一人ひとりの真の思いを大切にし、その人らしい生活が笑顔で送れるように、利用者の生活リズムに合わせた援助を行うことで、希望や思いが叶うようにします。
- ・家族的な雰囲気で助け合い思いやりを大切にし、利用者がゆったりと過ごす時間を大切に笑顔で暮らせるグループホームにします。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・苑内で収穫した野菜の調理方法を利用者と一緒に食事の下ごしらえをしたり、利用者との日々のふれあいの中でコミュニケーションを深めている。
- ・利用者の暮らしの思いや意向の把握に努めており、スタッフ側からの声かけを大事にしている。
- ・「あじさい通信」では、個別にコメントを載せて近況を知らせている。
- ・地域との交流では、地域文化祭への利用者作品の展示や小学校運動会・音楽発表会・餅つき大会などへの参加、また、小・中学校の福祉体験や職場体験の受け入れをしており、ボランティアの参加や踊り・歌の慰問もあり、地域との交流を積極的に行っている。
- ・居室はすべての部屋に電動ベッドやトイレ・洗面所・整理タンスが備え付けられており、移動しやすいように手すりが設置してある。
- ・共用空間は広く、ゆったりとしており、安心して暮せる環境となっている。
- ・敷地内に特別養護老人ホームやデイサービスセンター・居宅介護支援センターなどがあり、地域福祉の一大拠点として地域に貢献している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	実施状況
次のステップに向けて期待したい内容				
I. 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員間で理念を元に、具体的なケアについて話し合い意見の統一を図りケアの実践を行っています。	理念は、食堂や事業所等に掲示し、パンフレットにも載せている。「明るく、穏やかに助け合い、思いやりを大切に」の理念を、職員で確認し、よりよいサービスが提供できるように努めている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化祭へ作品の展示、販売や郷土芸能の見学を行っています。 ・地域の学校の運動会や音楽発表会に参加したり、郷土芸能や毎月の誕生会、季節毎の慰問で交流を行っています。 	地域文化祭への利用者作品の展示や小学校運動会・音楽発表会・餅つき大会などへの参加、小・中学校の福祉体験や職場体験の受け入れもしている。また、ボランティアの参加や踊り・歌の慰問など、日常的に地域との交流を行っている。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所内で認知症高齢者の理解についての研修を行い、地域で暮らす認知高齢者の支援や理解者の一員として活動しています。	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で、状況の報告、活動報告を行い、又食事会を開き、利用者の状況を見て頂き話し合いの中で意見を出して頂き、サービスや運営に活かしています。	会議には、利用者や家族・老人会会長・地域包括支援センター職員等が出席している。活動内容等を説明し、意見交換を行い、委員からのアドバイスなどが行われている。また、外部評価の結果についても報告し、サービスの質向上に反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	実施状況
			次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村の担当者に、ケアや課題解決の為に相談したり、助言を受けながら日頃から連携を取りながらサービスを進めています。</p>	<p>町役場が近くにあり、必要に応じて担当課への相談や情報交換を行っている。担当者とは、ケアサービスについての助言を受けたりして、日頃から協力関係を築くように取り組んでいる。</p>
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人内の身体拘束委員会や研修会への参加し身体拘束の意義についての理解を深め、拘束をしないケアを行っています。</p>	<p>身体拘束をしないケアについては、身体拘束廃止のための指針がある。法人で身体拘束廃止委員会を開催したり、研修会を実施し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は鍵をかけないケアを実践している。</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体的な虐待だけでなく、言葉・心理的・経済的な虐待について研修することで理解を深めて施設内から虐待を起さないように努めます。</p>	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在まで利用された方はいません。制度については、管理者がパンフレットなどで簡単な説明を行っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所に関しては、特に利用者や家族の気持ちを十分に察し丁寧に説明する事で、入所に関して納得、理解して頂く事で、安心して契約を行っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者、家族の意見や要望に対しては、職員で話し合い検討、改善に向けた取り組みを行っています。また、運営推進会議でも検討しています。</p>	<p>意見箱を設置しており、利用者からは、日頃の生活の中で意見や要望を聞き、家族からは、食事会や電話・面会時を活用し要望を聞いている。要望等については、職員全体で解決できるように努めており、運営推進会議でも報告して運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングで職員の意見を聞き、代表者会議に提案し話し合いの機会を設けて運営に活かしています。</p>	<p>毎月のサービス担当者会議等で、職員から運営に関する要望等を聞き、法人全体の代表者会議に意見を反映させている。管理者も日頃から職員とコミュニケーションをとるように心がけており、勤務の希望についても配慮している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者が個々の勤務態度や頑張りの評価を行い代表者に報告、定年まで働けるような環境、条件を整えられるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎年1名は、県の老人福祉協議会の研修へ参加、地区の研修へも積極的に参加していきます。事業所内の研修や研修報告を行い、介護力の向上に努めていきます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業所が集う地域での研修会に参加し、交流を行うと共にサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前に本人のニーズや身体状況を利用者本人、家族に聞き、利用者本位のサービスを提供し安心して暮らせるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の不安や困っている事にも耳を傾ける事で、精神的な支援を行い信頼関係を築くように努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>身体、精神状況を的確に把握し、必要な支援を考えられる場合は、他の事業所やサービスの紹介をしたり、相談に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の得意な部分を活かし役割を持って一緒に生活を築き上げて行く様な工夫や声かけ支援に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いに寄り添いながら日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に努め、本人と一緒に支えるために家族と同じ思いで、支援している事を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人、行きつけの場所、墓参り、自宅への外出等と本人が付き合いを継続出来る様に、一緒に出かけたり、着て頂いたりして継続的な交流が出来る様に働きかけます。	利用者の要望により、自宅訪問や墓参りなどの外出について、できるだけ希望に添えるようにしている。また、知人や友人の訪問もあり、馴染みの関係を継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に話をしたり、気のあった者同士で過ごせる場所作りを行い、皆で楽しく過ごす時間を作ったりしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	隣接の特養に入所された方とは行事等も一緒に行い、声をかけ合い交流を持っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	
次のステップに向けて期待したい内容					
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関りの中で声かけなどコミュニケーションに努め思いの把握に努めています。言葉や表情等からその真意を汲み取りそれとなく確認しています。	本人や家族の思いを入居時に把握し、暮らしの中で気が付いたことなどを職員間で話し合い、確認している。意志疎通が困難な人には、家族から情報を得て、本人の意思を尊重した生活ができるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴やこだわり、なじみの暮らし方を本人や家族、ケアマネ等から聞き取ったりしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活リズムを理解して動きや声の大きさ、表情等から心身の状態を感じ取る事が出来る様に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間で日常生活動作の様子や表情など気づきを記入し、本人・家族・職員の意見を取り入れて介護計画を作成しています。	利用者の毎日の暮らしの中で、気づきを大事にしており、また、家族の意見を聞いて、利用者一人ひとりについて現状に即したプランを作成している。モニタリングは毎月実施し、介護計画の見直しは6ヶ月毎に行っている。状態が変化した場合は、随時見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>食事・排泄・体調の変化や日々の様子など気づき等を個別に記録し、全ての職員が確認できるようにして情報の共有を行い、介護計画の見直し、実践に活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人・家族の思いや要望に応じて受診の付き添い、自宅訪問や墓参り等を支援しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の一員として文化祭や運動会、音楽発表会等への参加を行うことで、地域の一員として暮らしを楽しく過ごすよう支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望を大切にし、希望者に対しては入所前の主治医での診療を継続しています。また、送迎・受診時の付き添いを行なっています。</p>	<p>希望のかかりつけ医への受診を支援している。通院は職員が対応しているが、必要に応じて家族の協力ももらっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>隣接の特養看護師と密接な連携をとり、日常の健康管理や医療面での支援を受けています。利用者の普段の状態や病歴等を熟知している看護パート職員もいます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院による状態の悪化を極力防ぐ為、面会に行ったり家族・病院と支援方法に関する情報交換を行ない早期に退院できるよう支援しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期になり医療行為が必要になった場合は、医療行為が出来ないため、家族・職員・関係機関と話し合い、ホームで出来る範囲の看取りでよいのか？入院かの相談をしている。</p>	<p>入居時に、本人や家族へ事業所の方針を説明している。終末期になった場合は、家族や職員・関係機関で十分に話し合い、方向性を確認し対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応について応急処置から連絡・対応方法について職員間で話し合い確認しているが訓練については定期的に行なっていません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署や地域の消防団の協力を頂き、夜間を含め避難訓練を年3回行なっています。台風など災害に備えて非常食を2～3日分準備してあります。</p>	<p>防災訓練は、地域の消防団の指導のもと、昼夜間想定訓練を年3回実施している。消火器の使い方の訓練や消防設備の定期点検も実施している。非常用の食料・水を備蓄している。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ミーティングや研修会等で利用者の人生やプライバシーを損ねないような声掛けや対応の仕方について話し合い実践しています。</p>	<p>入職時に、利用者の人格の尊重とプライバシーの確保について研修している。職員の勉強会を行い、ミーティング等でも話し合っている。日頃から利用者に対して、トイレ誘導時や入浴時の声かけなど、個人を尊重したケアを行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>職員間で決めた事を押しつけず、選択肢を提案し自分で決め納得出来るように働きかけ思いをくみ取れるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人一人の状態に合わせ、その時々本人の気持ちを尊重し利用者本位のケアに心掛け柔軟な対応をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の生活習慣に合わせた支援を行い、衣類等は自分で選んでもらうなど個性を尊重しています。行事・外出時にはお化粧品やお洒落をして参加しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方が少なく毎日では出来ないが、簡単な下拵えなど出来る部分を行なっています。利用者と職員と一緒に来た野菜や山菜の調理法を相談したり、会話をしながら下拵えをしています。	庭の菜園の野菜や旬の野菜などを使い、利用者の好みを聞き調理している。法人施設の栄養士が立てた献立を参考にして、体調を考慮し職員と利用者が一緒に調理を行ったり、同じテーブルを囲んで話しながら、さりげなく食事支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の立てた献立を参考に栄養バランスを考え、また、見た目にも食欲が出るように盛り付けにも気をつけています。水分補給では一人一人の状態に合わせた援助をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性を研修で学び、食後の歯磨きの声掛け介助を行っています。その他、食前食後の嗽・義歯洗浄を援助しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握する事で失敗が少なくトイレでの排泄がスムーズに出来て、オムツから紙パンツ・布パンツへの移行が出来るようになり気持ち良い排泄が出来るようになっていきます。	排泄チェック表を作成し、排泄時間や習慣を把握し、利用者一人ひとりに適時に声かけして、トイレ誘導を行っている。できるだけ昼間おむつをしないで済むように、排泄の自立に向けた支援を行っており、改善がみられる利用者がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を使用したり、水分をしっかり摂る様になっています。歩行運動や散歩を行ったりして自然排便が出来るよう取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的な入浴時間はありますが、一人が入ると皆が入ると希望があり、その希望に沿った対応を行っています。入浴順番やお湯加減・垢すりの硬さ等配慮し、気持ち良く入浴出来る様になっています。	入浴日は決まっているが、利用者の希望を尊重して入浴支援をしている。一人ひとりがくつろいだ気分で入浴できるように配慮し、個別の入浴や好みの入浴剤などで、楽しい入浴支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	日中の活動を促し、生活リズム を整えるように努めています。 一人一人その時々 の状況に合わせ、運動と休養のバ ランスが取れるよう支援してい ます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	職員一人一人が服薬の内容を把握 出来るように薬の説明書をいつ でも見れるようにしていま す。処方・用量の変更時や状況 の変化が見られた時は、協力医 療機関との連携が図られるよう になっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	野菜作りの得意な方、裁縫の好 きな方、唄や踊りが好きな方な どその方の生活歴や出来る事 を活かした暮らしに心掛け楽 しく過ごせるように支援してい ます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	本人の希望に応じ墓参りや買 い物等に出かけたり天候の良 い時は、散歩や山菜取りに出 かけたりしています。	天気のよい日は散歩をしたり、 山菜採り等をしている。買物 や遠足などの外出、本人の希 望による墓参りも実施してい る。行事参加への外出やド ライブなど、歩行困難な利用 者もリフト車を利用して、外 出支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理できる方には所持して頂いております。出来ない方には購入前にお金を渡し支払いをして頂き、残金を預かっています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や友人などが電話をかけやすい雰囲気作りや、職員から利用者に電話をかけるように促しています。毎年、年賀状を出す他、てがみを出す方もいるので、代筆・投稿等の支援をしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間兼食堂は明るくソファもあり、利用者が好みの場所でゆったりと居心地良く過ごせるように季節の花や飾り付け等を行っています。</p>	<p>共用空間は広くゆったりとしており、採光もよく、ソファでくつろげるようになっている。また、花が飾られ、利用者の着物等の手作り和裁作品などが展示されており、落ち着いて過ごせる工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間の片隅にはソファを置き、仲の良い利用者同志や一人でゆっくり過ごせるスペースがあります。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、それぞれトイレ・洗面所があり利用者の行動能力に合わせてベッドの位置を工夫したり、本人が居心地良く過ごせるように写真や使い慣れた日用品が持ち込まれ快適に過ごせるように配慮しています。</p>	<p>居室は、すべての部屋に電動ベッドやトイレ・洗面所・整理タンスがあり、手すりを設置している。居室には本人の使い慣れた家具や写真等があり、家庭的な雰囲気を大切に、安心して暮らせる配慮をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態に合わせて手すりや浴室・トイレ・廊下・居室等の居住環境が適しているのか見直し、安全確保と自立への配慮をしています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない